



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日 東

上場会社名 株式会社イエローハット 上場取引所
 コード番号 9882 URL <http://www.yellowhat.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 康生
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 孝二 (TEL) 03-5695-1602
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	92,907	△1.5	6,617	21.2	7,333	18.2	5,177	1.6
25年3月期第3四半期	94,318	16.3	5,461	3.7	6,205	1.6	5,095	22.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,285百万円(4.7%) 25年3月期第3四半期 5,048百万円(21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	228.41	228.25
25年3月期第3四半期	217.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	79,792	51,415	64.4	2,267.37
25年3月期	82,122	46,950	57.2	2,068.77

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 51,392百万円 25年3月期 46,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
26年3月期	—	18.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,552	0.9	7,755	9.6	8,556	5.0	5,894	△2.7	260.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	24,961,573株	25年3月期	24,961,573株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,295,309株	25年3月期	2,266,607株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	22,666,477株	25年3月期3Q	23,455,372株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、金融緩和策や経済対策の効果等により円安・株高基調が維持され、企業収益や個人消費は持ち直しつつあるものの、一方で海外景気の下振れの懸念もあり、依然として不透明な状況が続いております。

当カー用品業界におきましては、軽自動車・コンパクトカー向けバッテリー、低燃費タイヤやスタッドレスタイヤ、アルミホイールの販売が堅調に推移した一方、カーナビゲーションにつきましては、“据え置き型”の販売量は下げ止まりの兆しを見せておりますが、依然として販売単価低下の状況にあり、厳しい経営環境となりました。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力事業であるカー用品等販売事業の一層の拡大を図るべく、テレビCM等広告宣伝の強化に努めるとともに、タイヤを中心とした消耗品の拡販や、車検・钣金・ポリマーコーティングなどのカーメンテナンスメニューの拡充推進を強化してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、各種営業施策実施による既存店の収益力強化に努めましたが、売上高は前年同期比14億10百万円（1.5%）減少の929億7百万円となりました。売上総利益は前年同期比13億16百万円（5.1%）増加の270億86百万円となりましたが、これは小売店舗数の増加、2りんかんの好調な推移、株式会社ジョイフルの卸利益拡大等によるものです。

また、販売費及び一般管理費は、小売店舗数は増加したものの、株式会社ドライバースタンドと株式会社モンテカルロの本部体制見直しの効果等もあり、前年同期比1億60百万円（0.8%）増加の204億69百万円にとどまりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比11億56百万円（21.2%）増加の66億17百万円、経常利益は前年同期比11億27百万円（18.2%）増加の73億33百万円、四半期純利益につきましては、前年同期比81百万円（1.6%）増加の51億77百万円となりました。

売上高の主な部門別内訳につきましては、卸売部門は前年同期比23億83百万円（4.6%）減少の490億円35百万円、小売部門は前年同期比10億3百万円（2.7%）増加の382億12百万円となりました。

②当期のセグメント別概況

当第3四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント別の概要は次のとおりであります。

＜カー用品等販売事業＞

当第3四半期連結累計期間におけるイエローハット店舗の出退店の状況につきましては、国内では平成25年5月にトレッド鴻巣店（埼玉県）、6月に呉宝町店（広島県）、7月に天草空港通り店（熊本県）、北本中丸店（埼玉県）、辻堂新町店（神奈川県）、10月に山科柳辻店（京都府）、天白荒池店（愛知県）、美祢インター店（山口県）、東舞鶴店（京都府）、三沢松原店（青森県）、11月に桑名サンシパーク店（三重県）、東長崎店（長崎県）、周東店（山口県）、東伯店（鳥取県）、出雲斐川店（島根県）の15店舗を開店し、7月に天草本渡店（熊本県）、10月に広島こうご店（広島県）、11月に浜松高丘店（静岡県）の3店舗を閉店いたしました。

出店店舗のうち、トレッド鴻巣店、呉宝町店、北本中丸店、美祢インター店、東長崎店、東伯店、出雲斐川店の7店舗につきましては、居抜き物件による出店となっております。

店舗譲渡および譲受けの状況につきましては、平成25年10月にグループ企業運営の京都久世店（京都府）、福知山店（京都府）、城陽店（京都府）、五条桂店（京都府）の4店舗を子会社である株式会社アクティブにて譲り受けいたしました。

イエローハット店舗以外では、平成25年6月にライダーズスタンド熊本2りんかん（熊本県）、9月にライダーズスタンド水戸2りんかん（茨城県）の2店舗を開店いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、国内がイエローハット572店舗、モンテカルロ12店舗、2りんかん40店舗、海外がイエローハット15店舗の合計639店舗となりました。

当第3四半期連結累計期間のカー用品等販売事業の売上高は、前年同期比13億23百万円（1.5%）減少の877億65百万円、セグメント利益につきましては、前年同期比11億24百万円（23.5%）増加の59億2百万円となりました。

＜賃貸不動産事業＞

当第3四半期連結累計期間の賃貸不動産事業の売上高は、前年同期比86百万円（1.7%）減少の51億42百万円となりました。一方セグメント利益につきましては、転貸物件の収益改善が進んだこと等により、前年同期比32百万円（4.7%）増加の7億15百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、385億80百万円（前連結会計年度末409億72百万円）となり、23億91百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が44億97百万円、その他（未収入金など）が26億1百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が31億72百万円、たな卸資産が15億29百万円増加したことによります。

また、固定資産の残高は61百万円増加し、412億11百万円（前連結会計年度末411億50百万円）となりました。

この結果、総資産残高は797億92百万円（前連結会計年度末821億22百万円）となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、202億34百万円（前連結会計年度末257億90百万円）となり、55億55百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が19億75百万円、未払法人税等が11億52百万円、その他（未払金など）が10億43百万円、1年内償還予定の社債が10億円減少したことによります。

また、固定負債の残高は81億42百万円（前連結会計年度末93億82百万円）となり、12億39百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が10億99百万円減少したことによります。

この結果、負債残高は283億77百万円（前連結会計年度末351億72百万円）となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、514億15百万円（前連結会計年度末469億50百万円）となり、44億64百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益51億77百万円を計上した一方で、配当金を8億16百万円支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月31日の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結累計期間において、株式会社アップルの全株式を取得したことにより連結の範囲に含めております。また、株式会社アクティブを新規設立したことにより連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,381	2,884
受取手形及び売掛金	11,540	14,712
たな卸資産	12,117	13,646
その他	10,401	7,799
貸倒引当金	△469	△463
流動資産合計	40,972	38,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,236	28,668
減価償却累計額	△16,266	△16,778
建物及び構築物(純額)	11,970	11,890
土地	13,747	13,562
その他	4,603	4,804
減価償却累計額	△2,892	△2,929
その他(純額)	1,711	1,874
有形固定資産合計	27,428	27,326
無形固定資産		
ソフトウェア	140	116
その他	166	122
無形固定資産合計	306	239
投資その他の資産		
投資有価証券	1,463	1,608
敷金	9,568	9,648
その他	2,785	2,754
貸倒引当金	△402	△366
投資その他の資産合計	13,414	13,645
固定資産合計	41,150	41,211
資産合計	82,122	79,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,649	10,564
短期借入金	5,174	3,199
1年内償還予定の社債	1,200	200
未払法人税等	2,176	1,024
賞与引当金	665	360
ポイント引当金	380	385
その他	5,544	4,500
流動負債合計	25,790	20,234
固定負債		
社債	1,400	1,300
長期借入金	1,401	301
退職給付引当金	981	924
リース債務	1,227	1,180
資産除去債務	1,312	1,373
その他	3,059	3,062
固定負債合計	9,382	8,142
負債合計	35,172	28,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	10,006	10,006
利益剰余金	26,438	30,799
自己株式	△2,581	△2,608
株主資本合計	48,937	53,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	299	389
土地再評価差額金	△2,309	△2,309
為替換算調整勘定	23	42
その他の包括利益累計額合計	△1,986	△1,877
新株予約権	—	22
純資産合計	46,950	51,415
負債純資産合計	82,122	79,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	94,318	92,907
売上原価	68,548	65,821
売上総利益	25,769	27,086
販売費及び一般管理費	20,308	20,469
営業利益	5,461	6,617
営業外収益		
受取利息	148	113
受取手数料	142	204
持分法による投資利益	64	87
貸倒引当金戻入額	81	41
その他	530	380
営業外収益合計	967	827
営業外費用		
支払利息	132	77
その他	90	33
営業外費用合計	223	111
経常利益	6,205	7,333
特別利益		
固定資産売却益	177	255
負ののれん発生益	2,027	109
その他	7	0
特別利益合計	2,212	365
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	36	20
減損損失	1,162	—
その他	27	—
特別損失合計	1,226	20
税金等調整前四半期純利益	7,191	7,677
法人税、住民税及び事業税	2,305	2,294
法人税等調整額	△209	205
法人税等合計	2,096	2,500
少数株主損益調整前四半期純利益	5,095	5,177
四半期純利益	5,095	5,177

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,095	5,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	89
為替換算調整勘定	△2	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△0
その他の包括利益合計	△46	108
四半期包括利益	5,048	5,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,048	5,285
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品等販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	89,089	5,228	94,318	—	94,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	89,089	5,228	94,318	—	94,318
セグメント利益	4,778	682	5,461	—	5,461

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カー用品等販売事業」及び「賃貸不動産事業」セグメントにおいて、当社が保有する土地等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、「カー用品等販売事業」182百万円、「賃貸不動産事業」979百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「カー用品等販売事業」セグメントにおいて、平成24年4月1日付で株式会社ドライバースタンドの全株式を取得し子会社化したことにより、負ののれん2,027百万円が発生しました。当該負ののれんは、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益として特別利益に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品等販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	87,765	5,142	92,907	—	92,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	87,765	5,142	92,907	—	92,907
セグメント利益	5,902	715	6,617	—	6,617

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「カー用品等販売事業」セグメントにおいて、平成25年4月1日付で株式会社アップルの全株式を取得し子会社化したことにより、負ののれん109百万円が発生しました。当該負ののれんは、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益として特別利益に計上しております。